

2018年6月22日

日本学生ライフル射撃連盟  
連盟兼関東支部競技審判長 岡田亜美(立教大学)  
関西支部競技審判長 沖慎也(大阪大学)

## 2018年度 競技規則に関する学生連盟公式見解

2018年度支部春季大会予選より、下記競技規則の見解を適用する。参加選手の競技理解の促進および、競技上の対応や審査における透明性の確保のために掲示する。下記内容は各校選手や役員から寄せられた疑問点・質問に基づいたものである。

学生連盟所属選手および役員にはこれらの見解を含め、競技規則をより理解することを強く求める。

※2018年6月22日 (2)追加

<服装に関する規定>

### (1)射撃ズボンの留め具について(RR7.5.5.1)

- ・ズボンを閉じる方法は1つの方法のみが許可される
- ・ボタン等の留め具とマジックテープの併用は不可

### (2)射撃ズボンのベルトループ幅測定範囲について(RR7.5.5.1)

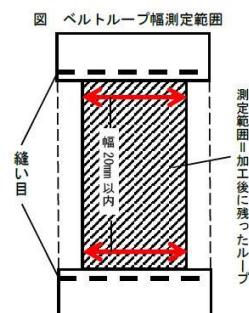
- ・ベルトループの幅は20mmを超えてはならない
- ・測定範囲は縫い目部分を除く、ベルトが通りうる非固定部分とする(右図参照)

### (3)通常のズボンの規定について(RR7.5.1.3)

- ・どの種目・姿勢においても半ズボンで競技を行う場合、裾は膝上15cmより長くなければならない
- ・半ズボンの下に下着(スパッツ等)を履いていてもこの規定は適用される
- ・半ズボン、下着は着衣の規定(RR7.5.7)を超えないものであること

### (4)身体に貼るテープについて(GTR6.7.4.2)

- ・射手の両腕、胴、腕にキネシオもしくは医療用または同様のテープの使用は禁止される
- ・競技中は身体に貼るものを使用しないこと(湿布、カイロ、冷却シート等を含む)



<ライフルに関する規定>

### (5)塗装物質について(RR7.4.2.6)

- ・ラバースプレーなど、グリップ力を増す物質を10mエアライフルのフォアエンド、グリップ、またはストック下側につけることはできない

### (6)フォアエンドレーサー、パームレストの規定について(RR7.4.2.2, RR7.4.2.5, RR7.4.5.2)

- ・10mエアライフルではパームレストを使用できない。フォアエンドレーサーを使用する場合フォアエンドの規定(銃身軸線下方120mmを超えない)が適用される。
- ・50mライフルではパームレストを使用でき、フォアエンドレーサーを使用する場合でもパームレストの規定(銃身軸線下方200mmを超えない)が適用される

### (7)ライフルや用具に貼るテープについて(RR7.4.2.6, RR7.5.4.7)

- ・グリップ力を増す物質を10mエアライフルのフォアエンド、グリップ、またはストック下側につけることはできない

- ・表面がベタつく物質をジャケット、当て物、靴、床、用具の外側や内側につけることはできない
- ・テープでウェイトを固定していると考えられる場合、ジュリーがテープを外すように指摘することがある

(8)立射姿勢の規定について(RR7.6.1.3(d))

- ・右肩の範囲を超える部分の射撃ジャケットや胸にライフルが触れてはいけない
- ・同性のジュリーが警告や検査をすることがある(GTR6.8.5)
- ・検査方法はAR標的を差し込んでスムーズに入るかどうかである

(9)チェストサポートの規定について(RR7.4.2.7, RR7.4.5(c)~(f))

- ・チェストサポートはウェイトの規定内での使用が認められる

<競技中のBGMに関して>

(10)クラクションと射手妨害について

- ・競技中にクラクションを鳴らした大学は反省文を幹事長に提出すること
- ・競技中のBGMと異なり、クラクションを鳴らすこと責任は役員ではなく選手や監督にあり、選手や監督による競技進行や射手への妨害を防ぐためにこの規則を設けている

(11)競技中のBGMと射手妨害について

- ・競技中のBGMがISSFおよび日本ライフル射撃協会が推奨するものであった場合、射手妨害等を理由にしたBGM変更の要請を一切受け付けない
- ・上記以外のBGMについては、複数要請があった場合変更することがある。要請の際には客観的な理由を説明すること